

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年4月21日)

ページ

- 令和7年度鳥取県内空港国内線利用者実績について
【観光戦略課】・・・2
- 2年連続となる鳥取-新千歳空港間の相互連続チャーターの就航について
【観光戦略課】・・・3
- アニメ「Re:ゼロから始める異世界生活(4期)」との連携企画について
【観光戦略課】・・・4
- 鳥取県サイクルツーリズムの情報発信について
【観光戦略課】・・・5
- 令和7年度米子鬼太郎空港国際線利用者実績について
【国際観光課】・・・6
- 台湾との交流状況について
【交流推進課】・・・7
- インドとの交流状況について
【交流推進課】・・・8
- 第55回日本漫画家協会賞「まんが王国とっとり賞」の贈賞について
【まんが王国官房】・・・9

輝く鳥取創造本部

令和7年度鳥取県内空港国内線利用者実績について

令和8年4月21日

観光戦略課

令和7年度の鳥取県内空港(鳥取空港、米子空港)の国内線搭乗者数は、航空会社との連携による利用促進の取組や旅行会社への働きかけにより、ともに過去最高を記録し、両空港の搭乗者数の合計が初めて100万人を突破しました。

同じく過去最高を記録した国際便と合わせて、県内空港利用者数は、合計119万人となり、過去最高となりました。

1 各空港の搭乗者数(令和7年4月1日から令和8年3月31日までの集計)

(1) 鳥取砂丘コナン空港 422,557人

※ これまでの搭乗者数の最高は、平成30年度の408,732人

→ 令和6年度比+20,761人(105%) [令和6年度搭乗者数:401,796人]

→ 平成30年度比+13,825人(103%) [平成30年度搭乗者数:408,732人]

(2) 米子鬼太郎空港 631,284人

※ これまでの搭乗者数の最高は令和6年度の591,142人

→ 令和6年度比+40,142人(106%) [令和6年度搭乗者数:591,142人]

→ 平成30年度比+41,779人(107%) [平成30年度搭乗者数:589,505人]

(3) 鳥取、米子両空港の合計 1,053,841人 ※初の100万人超え

※ これまでの搭乗者数の最高は平成30年度の998,237人)

→ 令和6年度比+60,903人(106%) [令和6年度搭乗者数:992,938人]

→ 平成30年度比+55,604人(105%) [平成30年度搭乗者数:998,237人]

[搭乗者数増の主な要因]

- ・ ANAと鳥取県が共同で取り組む誘客キャンペーン「うっとり鳥取ANA」において、様々な搭乗キャンペーンや情報発信を行ったほか、万博を契機とした「とっとりリアル・パビリオン」の発信などにより首都圏からの誘客に取り組んだ結果、空港利用者への調査によると観光目的での搭乗者数が、コロナ前の34%(平成30年度)から40%(令和7年度)に伸長。
- ・ 官民で構成する、鳥取・米子両空港利用促進懇話会において、地元に向けた搭乗キャンペーンを実施したほか、観光連盟のプロモーターを通じて首都圏の旅行会社へ旅行商品造成の働きかけを行った結果、旅行会社を通じた座席販売が伸長。
- ・ ANAが毎月格安の航空券セール「ANAスーパーバリューセール」を実施しているほか、県・空港利用促進懇話会においてもSNS等を活用し、情報の拡散を実施。

2 搭乗者数及び搭乗率の推移(平成30年度～令和7年度)

(1) 鳥取砂丘コナン空港

(単位:人・%)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
搭乗者数	408,732	388,696	92,083	133,515	285,314	374,150	401,796	422,557
搭乗率	67.2	65.1	40.5	45.0	49.2	60.6	66.7	72.7

(2) 米子鬼太郎空港

(単位:人・%)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
搭乗者数	589,505	577,072	137,641	198,952	398,790	535,299	591,142	631,284
搭乗率	74.6	67.6	46.5	47.8	56.0	64.9	68.9	73.0

2年連続となる鳥取-新千歳空港間の相互連続チャーターの就航について

令和8年4月21日
観光戦略課

鳥取砂丘コナン空港と新千歳空港間を結ぶ相互連続チャーター便が令和7年に実績が好調であったことから、令和8年についても引き続き就航することが決定しました。SNSによる情報発信、とりネットへの掲載等により多くの方にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

1 運航概要

(1) 運航時期 令和8年7月17日(金)から7月22日(水)まで(1日1往復・6日間運航)

(2) 予定運航時間 10:20新千歳空港発 → 12:30鳥取空港着
13:30鳥取空港発 → 15:20新千歳空港着

※なお、北海道からのツアーが到着する7月17日(金)、18日(土)、19日(日)には地元関係者によるお出迎えを実施します。

(3) 使用機材 エンブラエルE175(84席)

(4) 販売形態 旅行会社による団体ツアー

(5) 航空会社 株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)

(6) ツアー内容 ア 北海道発のツアーの主な訪問先(3泊4日)

鳥取砂丘、砂の美術館、なしっこ館、倉吉白壁土蔵群、三朝温泉、水木しげるロードなど

イ 鳥取発のツアーの主な訪問先(3泊4日)

富良野、函館、小樽、エスコンフィールドHOKKAIDO、旭山動物園など

【参考：令和7年度の運航実績】

運航期間：令和7年8月30日(土)から9月4日(木)まで(1日1往復・6日間運航)

搭乗率：鳥取空港発99%(販売数244席/提供座席数246席)

新千歳空港発83%(販売数206席/提供座席数246席)

[昨年のお出迎えの様子]



アニメ「Re:ゼロから始める異世界生活（４期）」との連携企画について

令和8年4月21日
観光戦略課

人気アニメ「Re:ゼロから始める異世界生活」第4期の放送開始に合わせた鳥取県との連携企画の実施について報告します。

1 「Re:ゼロから始める異世界生活（略称「リゼロ）」の概要

著者：長月 達平氏

放送概要：地上波（東京 MX, TSK 山陰中央テレビ等）での放映や動画配信サービス（U-NEXT 等）で視聴可能。今年でテレビアニメ放映10周年を迎え、特番放送なども予定されている。

原作：ライトノベルで平成24年に「小説家になろう」にて連載が始まり、平成26年からMF文庫J（KADOKAWA）にて刊行。単行本は現在44巻まで発刊。（全世界シリーズ累計発行部数1,600万部突破）海外では、韓国や中国、アメリカ、ヨーロッパなどでも人気の作品。

2 鳥取県との連携企画の内容

アニメ第4期の舞台が砂漠であることから、KADOKAWA側より鳥取砂丘のある鳥取県との連携について提案があり、今回の企画が実現。

(1) 連携企画キャンペーンメディア発表会 の開催（4/19）

日時：4月19日（日）

場所：鳥取砂丘ビジターセンター

参加者：小林 裕介氏（声優：「ナツキ・スバル」役）

高橋 李依氏（声優：「エミリア」役）

江口 拓也氏（声優：「ユリウス・ユークリウス」役）

鈴木 このみ氏（歌手：オープニング主題歌担当）

概要：連携企画の開始宣言

鳥取県とのコラボを記念した砂レリーフ除幕

砂丘同盟調印式

参加者によるトークセッション



コラボキービジュアルには鳥取砂丘と夢みなとタワー



(2) 「Re:ゼロから始める鳥取スタンプラリー」の実施（4/19～）

砂漠の果てにある塔を目指すテレビアニメ第4期の世界観に沿って、鳥取砂丘から夢みなとタワーまで県内スポットを巡り、キャラクタースタンプを集めていくスタンプラリーを実施。

各スポットには、人気キャラクターの等身大パネルを展示するほか、集めたスタンプの数に応じて先着順で限定プレゼント（ポストカード・キャラクター砂スタンド）を贈呈。

【県内スポット】

鳥取砂丘ビジターセンター、フィールドハウス、わらべ館、円形劇場、夢みなとタワー

(3) 「リゼロとっとり SNS キャンペーン」の実施（4/19～8月末）

鳥取県公式とリゼロ公式の両方のXアカウントをフォローし、「鳥取県のリゼロにまつわる場所」の写真等を指定のハッシュタグ（#リゼロとっとり、#撮影場所（例）鳥取砂丘）をつけて投稿すると、抽選で18名にリゼロオリジナルグッズ（サイン入りTシャツ等）を進呈。

(4) 砂レリーフの設置（4/20～）

主人公「スバル」など主要キャラクター7体をあしらった砂のモニュメントをメディア発表会でのお披露目ののち、夢みなとタワーのロビーに設置。



砂のモニュメントデザイン

鳥取県サイクルツーリズムの情報発信について

令和8年4月21日
観光戦略課

「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート候補ルート選定を契機とした、首都圏における鳥取県サイクルツーリズムの認知度向上と誘客促進等に係る情報発信の実施について、以下のとおり報告します。

1 首都圏メディア発表会を実施

- (1) 日時：令和8年4月22日（水）11時20分～11時50分
- (2) 場所：とっとり・おかやま新橋館（東京都港区新橋）
- (3) 出席者：平井知事
お笑いタレント「安田大サーカス」



(安田大サーカス)

(4) 内容

自転車愛好家として知られ、鳥取城北高校卒の団長安田さん率いるお笑いタレント「安田大サーカス」を『鳥取うみなみロード応援団』に任命し、鳥取うみなみロードをはじめ鳥取県でのサイクリングの魅力や「鳥取サイクリング優待キャンペーン」実施をPRする。

【鳥取サイクリング優待キャンペーン概要】

期間：4月22日（水）～8月31日（月）

- 内容：① Instagram フォトコンテストを実施し、優秀作品に特産品を贈呈。
② 「サイクルカフェ」（県内34施設）で割引やお得なサービスを提供。
③ 「サイクリストに優しい宿」（県内30施設）の宿泊費用を最大3,000円割引。
④ 県内空港を利用し自転車輪行で来県したサイクリストを対象に、鳥取・米子空港間で輪行袋（自転車の分解・持ち運び用の専用バック）配送サービスを無料で実施。
(令和9年3月まで)

2 日本最大のスポーツ自転車フェスティバル「CYCLE MODE TOKYO 2026」への鳥取県サイクルツーリズムの魅力発信ブース出展及びステージイベント実施

- (1) 日時：令和8年4月25日（土）、26日（日）
- (2) 場所：東京ビッグサイト東7ホール（東京都江東区有明）
- (3) 内容

① ジテンシャ旅×旅フェアゾーンにPRブースの出展

鳥取サイクリング優待キャンペーンや鳥取うみなみロードなど県内サイクリングルートの紹介をはじめ、サイクルトレイン、サイクルバスなどサイクリスト受入環境などをPRする。

② 特設ステージでのイベントの実施（4月25日（土）14時～14時30分）

鳥取うみなみロードのほか県内のサイクリングルートを実際に走り、情報発信をお願いしてきた人気自転車系 YouTuber のおおやようこさんとけんたさんをゲストスピーカーに迎え、鳥取うみなみロードの魅力を語ってもらうトークショーを実施する。



(おおやようこさん：東部モニュメント)



(けんたさん：大山)

令和7年度米子鬼太郎空港国際線利用者実績について

令和8年4月21日
国際観光課

令和7年度の米子鬼太郎空港の国際線搭乗者数は、米子ソウル便のデイリー運航、米子台北便の新規就航により過去最高を記録し、搭乗者数の合計が初めて13万人を突破しました。

1 各国際路線の搭乗者数(令和7年4月1日から令和8年3月31日までの集計)

(1) 米子ソウル便 96,518人 ※12/23から3/28までデイリー運航

※これまでの搭乗者数の最高は平成30年度の73,041人

→令和6年度比+44,401人(185%) [令和6年度搭乗者数：52,117人]

→平成30年度比+23,477人(132%) [平成30年度搭乗者数：73,041人]

(2) 米子台北便 25,715人 ※5/29に新規就航

(3) 米子香港便 14,041人 ※9/1から運休

※これまでの搭乗者数の最高は平成30年度の30,867人

→令和6年度比+617人(105%) [令和6年度搭乗者数：13,424人]

→平成30年度比▲16,826人(45%) [平成30年度搭乗者数：30,867人]

(4) 各国際路線の合計 136,274人 ※初の13万人超え

※これまでの搭乗者数の最高は平成30年度の103,908人

→令和6年度比+70,733人(208%) [令和6年度搭乗者数：65,541人]

→平成30年度比+32,366人(131%) [平成30年度搭乗者数：103,908人]

[搭乗者数増の主な要因]

・山陰の国際定期便初の米子ソウル便のデイリー運航(12/23～)、米子台北便の新規就航(5/29～)により搭乗者数が大幅に増加。なお、国際便3路線が同時運航したのは初めてのこと。

・実施した主なプロモーション内容は次のとおり。

韓国：旅行会社、メディア等を対象とした鳥取県観光情報説明会の開催(4月、11月)、日韓知事会議におけるデイリー運航PR(11月)、OTA(オンライン旅行会社)と連携した県内宿泊施設割引クーポン配布(12月)、韓国の旅行社を招聘した鳥取・島根FAMツアーの実施(2月、3月)など

台湾：ITF(台北国際旅行博)でのPR(11月)、台北市内でのラッピングバス・地下鉄広告(9～3月)

SNSでのモデルコースコンテストの実施(12～3月)、旅行会社を対象とした観光情報説明会(2月)など

2 搭乗者数及び搭乗率の推移(平成30年度～令和7年度)

(1) 米子ソウル便

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
搭乗者数	73,041人	30,746人	—	—	—	24,70人	52,117人	96,518人
搭乗率	73.3%	65.7%	—	—	—	88.2%	83.7%	84.6%

(2) 米子台北便

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
搭乗者数	—	—	—	—	—	—	—	25,715人
搭乗率	—	—	—	—	—	—	—	81.2%

(3) 米子香港便

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
搭乗者数	30,867人	29,167人	—	—	—	7,137人	13,424人	14,041人
搭乗率	73.5%	66.1%	—	—	—	60.3%	61.9%	56.8%

台湾との交流状況について

令和8年4月21日
交流推進課

本県では、友好交流協定を締結している台中市をはじめ、台湾との国際交流を推進してきました。昨年5月には米子台北便も就航するなど台湾との人的往来も活発化しているところ、最近の台湾との交流事業について報告します。

1 台湾新竹県政府訪問団の来県

台湾の梨の産地である新竹県の楊文科(ヤン・ウェンクェ)新竹県長をはじめとする新竹県政府関係者 15名が4月8日(水)～11日(土)に県内農業施設(なしっこ館、とっとり花回廊ほか)を視察するため来県。

(1) 鳥取県議会議長主催歓迎昼食会

(日 時) 4月9日(木)11:30 から 12:30 まで

(場 所) ホテルモナーク鳥取

(出席者) 楊文科(ヤン・ウェンクェ)新竹県長をはじめ新竹県政府関係者15名
福田 俊史 鳥取県議会議長(日台親善議員連盟幹事長)
斉木 正一 日台親善議員連盟会長、伊藤 保 日台親善議員連盟副会長、
坂野 経三郎 日台親善議員連盟幹事、入江 誠 日台親善議員連盟幹事
鹿島 功 日台親善議員連盟事務局長ほか



(主な発言内容)

・福田議長

台湾は、かけがえのないパートナーであり、持続的な互惠関係によって地域の平和と安定、成長の礎を築くことができる。(新竹県横山郷と友好交流協定を締結している)若桜町、若桜駅をはじめ、引き続き交流を推進していく。

・楊県長

2013年に新竹県で行われたランタンフェスティバルに鳥取から鬼太郎のランタンを出していただき、大変に好評であった。今後も文化や芸術面において鳥取県と交流を進めていきたい。

(2) 楊県長と平井知事との面談

(日 時) 4月9日(木)13:00 から 13:20 まで

(場 所) 議会棟3階 特別会議室

(出席者) 楊文科(ヤン・ウェンクェ)新竹県長をはじめ新竹県政府関係者 15名
平井知事、鈴木輝く鳥取創造本部長、田口観光交流局長ほか



(主な発言内容)

・平井知事

鳥取県は、名探偵コナンや鬼太郎などまんが分野で、台湾で人気の観光素材がある。また、新竹県と同じく梨が名産であり、梨の加工品なども豊富。

2027年には鳥取県でワールドマスターズゲームズを開催予定であり、新竹県からも多くの方が来県いただきたい。

・楊県長ほか

新竹県と鳥取県は農業分野などで共通点が多い。この度の鳥取県への訪問で梨をはじめとする農業施設を視察させていただく。新竹県はハイテク産業が有名で今後、スマート農業に力を入れていく。

今後も鳥取県若桜町・新竹県横山郷の交流をはじめ、鳥取県との交流を進めていく。

2. 台湾とのスキー交流実施に係る意見交換

令和9年冬に台湾大学生による大山スキー合宿を通じたスキー交流実施に向け、3月27日に台湾体育大学(台中市)の林文郎(リン・ウェンラン)教授が、大山スキー場や宿泊施設等を視察され、内田県議会議員、竹口大山町長ほかと意見交換を実施。

(日 時) 3月27日(金)11:30 から 12:30 まで

(場 所) 山楽荘(西伯郡大山町)

(出席者) 台湾体育大学 林文郎(リン・ウェンラン)教授

内田 博長 鳥取県議会議員、竹口 大紀 大山町長、田口観光交流局長ほか



(主な発言内容)

・内田議員

大山スキー場は海が見えるスキー場として、台湾の大学生が興味を持っていただけると確信している。ぜひ合宿で来県いただきたい。

・林教授

大山ホワイトリゾートは、景色がとても綺麗でコースなども満足いくもの。ぜひ学生を連れてきたい。

インドとの交流状況について

令和8年4月21日
交流推進課

インドは成長著しく、今後本県でも経済、人材、販路、青少年など多様な分野での交流が期待されます。本県としては、インドとの関係性の強化に向けて以下のとおり取組を進めていますので報告します。

1 駐日インド大使館、在大阪・神戸インド総領事館との関係強化

(1) 第77回インド共和国記念レセプションへの参加（於：ホテルニューオータニ大阪）

（日 時）1月26日（月）18:30～20:30

（出席者）チャンドル・アッパル在大阪・神戸インド総領事、平井知事、島谷県議会議員ほか

（内 容）・インドが「共和国」として正式に成立したことを祈念する第77回レセプションにおいて、知事はスピーチでオディシャ州との交流に関して発言。併せてアッパル総領事にインドとの交流促進に係る協力を求めた。

(2) 「鳥取の味覚フェア」メディア向けトップセールス及び試食会（於：ヒルトン大阪）

（日 時）1月27日（火）11:30～14:00

（出席者）チャンドル・アッパル在大阪・神戸インド総領事、平井知事、島谷県議会議員ほか

（内 容）・鳥取の食パラダイスを国内外に発信することを目的に「鳥取味覚フェア（松葉ガニフェア）」を実施。アッパル総領事からは、「このような機会を通じてインドと鳥取の絆を更に深めたい」と発言があった。

(3) ナグマ・モハメド・マリック駐日インド特命全権大使との面談（於：駐日インド大使館）

（日 時）3月26日（木）13:30～14:30

（出席者）ナグマ・モハメド・マリック駐日インド特命全権大使、
ラヴィンドラン・マドゥ・スーダン主席公使、平井知事ほか

（内 容）・知事からオディシャ州政府との友好協定締結に向けた継続的な協力を要請した。
・マリック大使からは、「オディシャ州政府との円滑な情報交換のため、大使館からもオディシャ州政府に協力を要請する。」と発言があった。

※当該面談を受け、4月10日（金）に遠藤政策統轄監がスーダン主席公使とオディシャ州政府との交流に係る実務者協議を実施。



平井知事とマリック駐日インド特命全権大使（写真中央）ほか

2 他自治体と連携したインド市場への働きかけ

(1) 「日印友好交流促進全国知事ネットワーク」オープニングセッション（於：駐日インド大使館）

（日 時）2月16日（月）17:00～19:30

（出席者）ナグマ・モハメド・マリック駐日インド特命全権大使
山梨県 長崎知事、平井知事ほか

（共同発起人（代理）：岩手県、宮城県、富山県、静岡県、
長野県、愛知県、香川県の副知事等）

（内 容）山梨県が主導し、インドに関して各自治体が有する知見や取り組みを相互に補完・活用しつつ、広域的な連携の促進を目的とした「日印友好交流促進全国知事ネットワーク」を立ち上げ、本県も共同発起人として参加した。



共同発起人（平井知事ほか）とマリック駐日インド特命全権大使

3 インドとの交流機運の醸成

(1) インドセミナー（於：ANA クラウンプラザホテル米子）

（日 時）3月13日（金）15:00～17:30

（出席者）デブジャニ・チャクラバルティ駐日インド大使館公使ほか

（内 容）チャクラバルティ公使が成長を続けるインド市場のダイナミズムについて、株式会社マイナビグローバル代表取締役社長による外国人材の定着・活用について講演し、約50名の県内企業関係者等が参加した。講演後に参加者同士のネットワーキングの場を設け、活発な意見交換がなされた。

(2) 鳥取西高校とインド・テランガナ州高校生との交流会（於：鳥取西高校）

（日 時）4月8日（水）13:00～17:30

（出席者）インド・テランガナ州 高校生8名、教員1名

※学校名：バヴァンズ スリ・ラーマクリシュナ ヴィデヤラヤ (Bhavan' s Sri RamaKrishna Vidyalaya)

（内 容）・NPO 法人インド日本友の会の紹介により、インド・テランガナ州（ハイデラバード近郊）の学生が来県。鳥取西高校で授業に参加したほか、インド古典舞踊、しゃんしゃん傘踊りの披露や部活動体験を通じて相互理解と自己成長を図った。



集合写真

第55回日本漫画家協会賞「まんが王国とっとり賞」の贈賞について

令和8年4月21日
まんが王国官房

「第55回日本漫画家協会賞」（主催：公益社団法人日本漫画家協会、1972年度から毎年開催）の選考会が4月9日に実施され、4月14日に受賞作品が発表されました。令和3年度に新設された「まんが王国とっとり賞」（県知事賞に相当）には、サイトウマド氏の『怪獣を解剖する』（KADOKAWA刊）が選出されました。6月に贈賞式が行われる予定です。

1 第55回（2026年度）日本漫画家協会賞概要

- (1) 主催者：公益社団法人日本漫画家協会
- (2) 目的：漫画文化の普及と日本漫画界の向上発展を図る目的のもとに優秀作品を顕彰すること
- (3) 対象等：当該年度の前暦年中に発表又は制作された出版物又は描き下ろし漫画作品。自薦又は会員の推薦により応募された作品から選考する。
- (4) 賞：大賞（コミック部門、カーズーン部門、萬画（まんが）部門）、知事賞（鳥取県、高知県）、文部科学大臣賞
- (5) 後援：文化庁、鳥取県、高知県

2 まんが王国とっとり賞（鳥取県知事賞）概要

- (1) 件数：1件
- (2) 選考基準：漫画文化への貢献が顕著であり、今後の益々の発展が期待される作品又は作者
※まんが王国・土佐賞（高知県知事賞）選考基準：漫画に関する事業を行い、まんが文化の発展に尽力された団体等
- (3) 受賞作品
 - ・作者：サイトウマド
 - ・作品名：怪獣を解剖する（KADOKAWA刊）
 - ・受賞理由：巨大怪獣という災害を前提に、痕跡から未来への手がかりを探る好奇心、恐怖、人が生きて暮らす様々な要素が作品に内包されている。

3 その他の受賞作品

賞	作者・作品等
大賞 コミック部門	『天幕のジャードゥーガル』 トマトスープ
大賞 カーズーン部門	『WART CARTOON -〈1コマ漫画〉から読み解くミャンマーの苦しみと願い』自由と平和な表現活動を支援する団体 WART
大賞 萬画（まんが）部門（R5から新設）	『漫画いしぶみ 原爆が落ちてくるとき、ぼくらは空を見ていた』 [原作] 広島テレビ放送編『いしぶみ』 [漫画] サメマチオ
まんが王国・土佐賞	『隙間』 高妍（がお・いえん）
文部科学大臣賞	『ビッグ錠 全作品』 ビッグ錠（びっぐ・じょう）

4 主催者概要

- (1) 名称：公益社団法人日本漫画家協会
- (2) 代表者：理事長 里中満智子（さとなか・まちこ）
- (3) 会員数：約4,113名（2026年3月31日現在・正会員数）

（参考）過去のまんが王国とっとり賞受賞作品

- ・第50回 作者：小梅けいと、作品名：『戦争は女の顔をしていない』（スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ原著・速水螺旋人監修、KADOKAWA刊）
- ・第51回 作者：タイザン5（たいざんふあいぶ）、作品名：『タコピーの原罪』（集英社刊）
- ・第52回 作者：つくしあきひと、作品名：『メイドインアビス』（竹書房刊）
- ・第53回 作者：石山 諒、作品名：『龍とカメレオン』（スクウェア・エニックス刊）
- ・第54回 作者：とあるアラ子、作品名：『ブスなんて言わないで』（講談社刊）